

EdTech 導入補助金2022

令和3年度補正 学びと社会の連携促進事業
(先端的教育用ソフトウェア導入実証事業) 費補助金

効果報告レポート

【事業者名】

Edv Future 株式会社

【ツール名】

生きる力を育む成長型支援サービス

Edv Path

【ツールの機能分類】

発展的な学び

2023年2月



GOOD DESIGN AWARD
2022年度受賞

46,000 ※2022年
7月現在
年間アカウント数

日本全国の中学・高校・自治体で導入！
学年や部活単位でも活用できます。

「生きる」力を育む成長型支援サービス

 **Edu Path**

EduPath データに基づく生きる力の育成で学習意欲を上げる

「非認知能力(ポテンシャルティ)」に着目し、生徒一人一人の非認知能力を可視化・数値化したのち、データとして蓄積。生徒の成長支援を行い、学習意欲を向上させるための最適なカリキュラムとコーチングを提案することで生徒個々の特性や進度に応じた、包摂的かつ公平で質の高い学びを支援します。

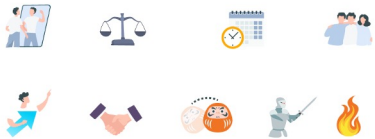


ポイント1: 見えない学力の測定

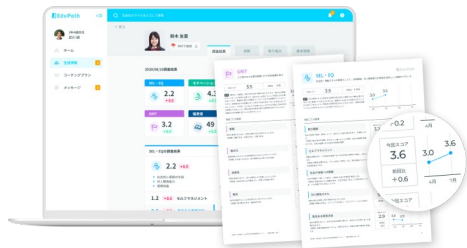
01

見えない学力の測定

生徒のアンケート回答をもとに、9つの項目で分析



回答時間：10~15分程度
設問数：実施する測定範囲によって異なります。



測定結果は即時反映。
Edu Pathのアカウント上や個別レポートとして結果を確認。生徒自身の特性や個性を一目で把握。

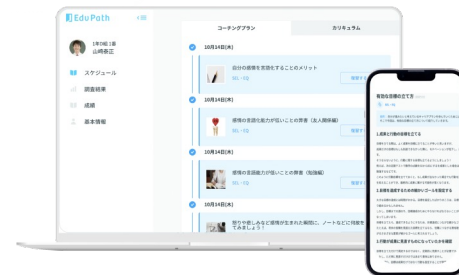
ポイント2: 能力育成プログラム

02

能力を育成する教育プログラム
クラス授業で利用する教材と
個々のコーチングプラン



指導案/プリント/スライド/回答例を提供。
教師の準備時間を大幅削減。



生徒の能力を効率的に育成するためのコーチングプランを表示。
学級経営や授業づくりのベースにすることで生徒の個性を活かすための環境づくりが可能に。

■ EdTech ツールの概要

EduPath でできること



見える学力と
見えない学力「生きる力」の
相関データを分析できる

外部模試や校内試験等を活用し、
見える学力と、見えない学力の相
関分析も実施。成績上位層と下位
層・科目別などで分析結果を詳し
く知ることができます。



今まで測定が難しかった
生徒個々人の
特性を把握できる

問題を抱えている生徒をピックアッ
プすることが可能です。具体的な
施策やコーチングプランも提供し
ており、活用していくことで改善
を促すことができます。



データ分析に基づき、
教員の指導力を
標準化できる

クラス間のデータを分析して、生
徒の成長を阻害する要因を分析で
きます。成長のために必要な、生
徒個々人への介入や助言をより具
体的にすることができます。

学ぶ理由がわからない
意欲がわかない



自発的に
学ぶ意欲が
高まる

EdvPathがつくる
学校教育の
未来

偏差値以外に
生徒の評価基準がない



生徒の個性や
能力に合わせた
指導ができる

生徒の個性や能力を、より活かせる学校教育へ。
生涯の学びの土台となる「生きる力」を育てる

■ Edv Path導入費用

学校様に応じた多様なプランをご用意しております。
詳細はお問い合わせください。

(費用の一例)

- ・ 初期費用：20万円/校
- ・ ツール利用料：月額300円/人
- ・ サポート費用：年額100万円/校

■ Edv Pathのこれまで



GOOD DESIGN AWARD
2022年度受賞

生徒や若手/ベテラン教員など多くの年代での利用を考慮し、直感的
なUIにこだわった開発の結果、2022年度Good Design賞を受賞



46,000

※2022年
7月現在

年間アカウント数



2020年9月1日にサービスをリリース。

2022年度の年間アカウント数が46000アカウントを突破！

■ 本事業における教育機関の課題

100校以上の教育関係者への調査結果から

生徒が自律的な意思決定をできていないため、
主体的な学習への意欲が低い

教員

様々な対策をしているが、
効果が見えない。
そのため対策の改善ができない。

生徒

意思決定出来てない事に気付いていない。気付いていても意思決定するために必要な要素が見えていない。

▼先生方から聞かれた声

- ・ 定性的な資質であるため、評価や測定のノウハウがない
- ・ 教員の業務負荷が高く、生徒に適した探究教材がつかれない
- ・ 生徒の学習二極化が進んでおり指導方法が異なる

▼生徒はなぜ自律的
になれないのか？

自分はダメな人間だと思い
自己肯定感が低い

73%



自分はダメな人間だ
と思うことがある
と回答

将来の目標がなく、
進路選択に不安がある

69%



進路を考える時
不安・どちらか
という不安
と回答

自分の適性が分からず
学業への意欲がもてない

57%



自分の適性が分か
らない
と回答

生きる力の育成と評価が学校の重要なミッションに!!

■ 本事業におけるEdv Path活用事例



再びアセスメントを実施し
生徒が成長を実感
+
教員の教育効果の実感

モニタリングされる
教員からや友人にワークの状況を聞かれたり、シェアする

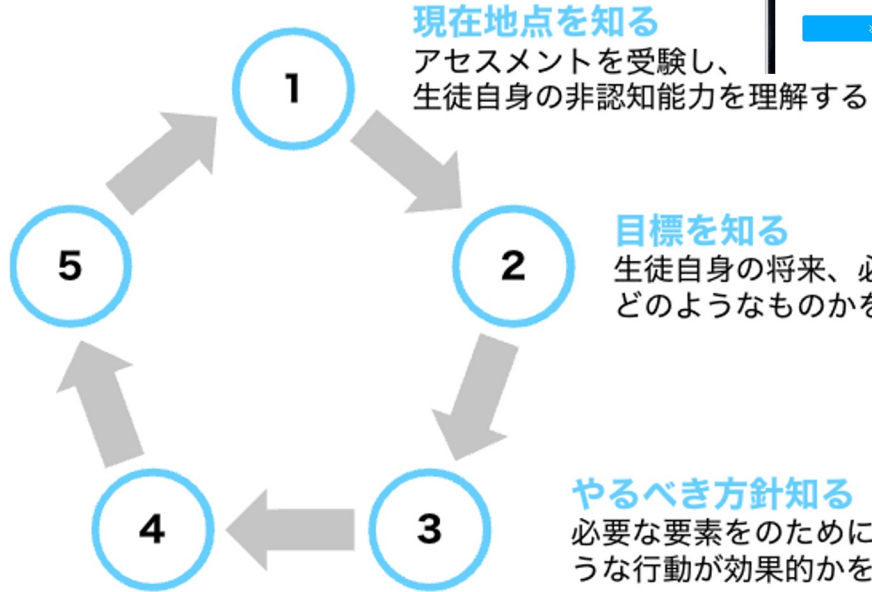
行動する
個人でコーチングプランを読んだりコーチングワークを行う

00 学校行事を振り返ってみよう！

1 自分の未来像を見ながら発表メモを作成しよう
 明後から10月にかけて実施してきた運動会や文化祭などの学校行事の振り返りをしましょう。自分自身がどうであったかをはじめ、クラスメイトと共に学校行事を行っていたことで多く良かったことや良かったこと、なにより多く良かったことの発表を準備していきましょう。

学校行事でうまく行ったことや良かったこと	内省を促す
どうしようもなかったこと	自分事として 自責の意識を持って再検討する練習
自分の行動次第で結果を変えられたこと	他者に向けて理由を発信 (自分の思考を言語化する = 意思決定)

調査結果に基づき、学校の状況や課題をはじめ、校内でのリソースなどを把握した上で具体的な介入施策を提案⇒実施する



1 現在地点を知る
アセスメントを受験し、生徒自身の非認知能力を理解する



回答時間：10~15分程度
設問数：実証校におけるニーズに合わせて質問数を設定

2 目標を知る
生徒自身の将来、必要な要素がどのようなものかを理解する



生徒が即時に自身の結果を確認

3 やるべき方針知る
必要な要素をのために、どのような行動が効果的かを理解する

今回のサマリ

調査項目	今回	前週	今回	前週
...	5.48	5.35	5.62	5.15
...	3.88	3.68	3.92	3.53
...	4.01	3.41	4.04	3.66
...	3.78	3.55	3.77	3.40
...	3.57	3.12		

オブション項目	今回	前週	今回	前週
...	3.86	3.45	3.91	3.64
...	4.02	3.61	3.90	3.77
...	3.93	3.73	3.90	3.77
...	3.71	3.64	3.80	3.69
...	3.73	3.68	3.96	3.63
...	3.82	3.58		

生徒の自己肯定感の向上を阻害する要因を分析し、向上のために学校として取り組むことや生徒への声かけをフィードバック

■ 補助事業において実施したサポート内容

■ Edv Pathサポート内容

- ・ 導入利用方法の研修
 - ↳ 研修準備
 - ↳ 教員及び生徒研修/操作説明実施
- ・ 生徒向けEdTechツール実施活用説明会
 - ↳ データ分析/レポート作成
 - ↳ 調査結果振り返り・非認知能力向上アクション説明
- ・ 教員向けカリキュラム研修
 - ↳ 研修準備及び研修実施
 - ↳ カリキュラム/ワークシート作成及び指導案の制作
 - ↳ カリキュラム/指導案の共有
- ・ カスタマーサポート
- ・ データの分析/レポート作成
 - ↳ 学校総括のデータ分析/レポート作成
 - ↳ エリア/学校属性/導入前後比較
 - ↳ データ分析結果をもとに学校の現状と課題の分析
 - ↳ アドバイスプランの作成
- ・ ツールの保守対応
 - ↳ 保守・メンテナンス（定期メンテナンス1回/月）
 - ↳ 不備発生時都度対応及び学校ごとの微修正対応


▼ 生徒へのオンライン説明会



▼ 教員へのオンライン説明会



▼ 教員向けのアセスメント結果レポート及び教員研修資料



“テクノロジーとイノベーションで進路の仕組みを変える”

今回のサマリ

標準項目	標準項目		標準項目	
	今回	前回	今回	前回
1	3.48	3.35	3.62	3.15
2	3.88	3.68	3.92	3.53
3	4.01	3.41	4.04	3.66
4	3.78	3.55	3.77	3.40
5	3.57	3.12		

オプション項目	オプション項目		オプション項目	
	今回	前回	今回	前回
1	3.86	3.45	3.91	3.64
2	4.02	3.61	今回	前回
3	3.93	3.73	3.90	3.77
4	3.71	3.64	3.80	3.69
5	3.73	3.68	3.96	3.63
6	3.82	3.58		

× Tech


中学校

レポート

Edv Path

教員様向け

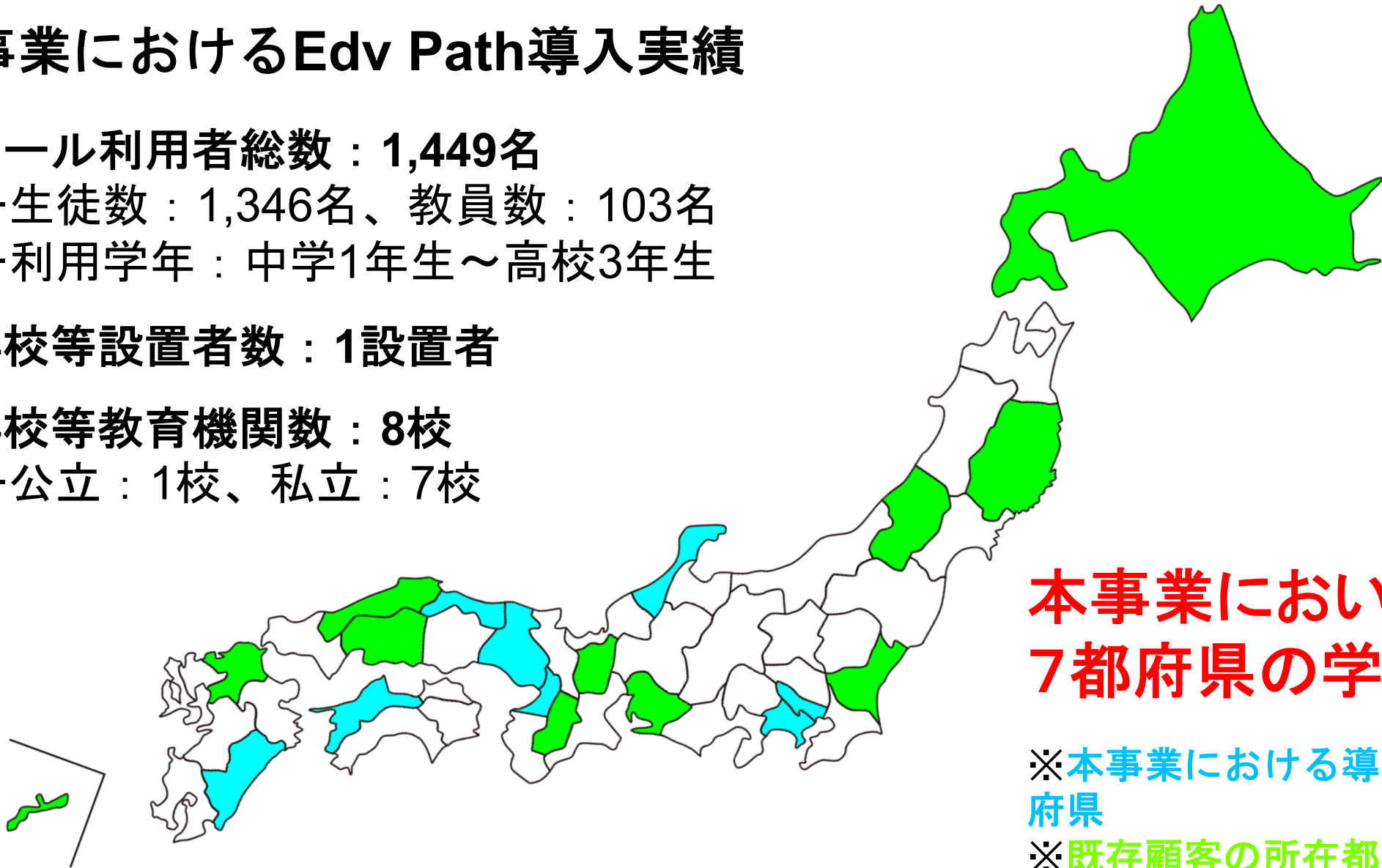
Edv Pathの利用方法について



EdTech導入補助金2022

■ 本事業におけるEdv Path導入実績

- ツール利用者総数：1,449名
 - 生徒数：1,346名、教員数：103名
 - 利用学年：中学1年生～高校3年生
- 学校等設置者数：1設置者
- 学校等教育機関数：8校
 - 公立：1校、私立：7校



**本事業において
7都府県の学校へ導入!!**

※本事業における導入校所在都道府県

※既存顧客の所在都道府県

■ 本事業におけるEdv Path活用効果

○自己肯定感の低さが課題の中学校における介入事例

先生方の考える課題：生徒の**自己肯定感**が低い

アセスメント結果：対人関係スキルと度胸に苦手意識を抱えている生徒が多い

時期：10月からの2大学校行事

介入プラン：学校行事前後における**目標設定と振り返り学習プラン**

▼プランの詳細

1. 事前準備) 学校行事実施前に行事内での**目標 (頑張りたいこと) を書き出させる**
2. 学校行事実施 (体育祭と文化祭を実施)
3. 事後学習) 右プリントを活用して**うまくいったことといかなかったことを整理して自分事として再検討**するワークを実施+他者に向けて発信
+α：学級通信等に生徒名を伏せて掲載

▼介入プラン実施用プリント

月 日 ()		EduPath	
00	EdvPath(エデュ・パス)カリキュラム	年 組 番	名前
学校行事を振り返ってみよう!			
1	自分の未来年表を見ながら発表メモを作成しよう	9月から10月にかけて実施してきた運動会や文化祭などの学校行事の振り返りをしましょう。自分自身がどうであったかをはじめ、クラスメイトと共に学校行事を行っていきうまく行ったことやいかなかったこと、なぜうまくいかなかったのかを自分なりに考えてみましょう。	
学校行事で うまく行った ことやいかな かったこと	例:	内省を促す	
どうしても無 かったこと	例:	自分事として 自責の意識を持って再検討する練習	
自分の行動次第 で結果を変えら れたこと	例:	他者に向けて理由を発信 (自分の思考を言語化する=意思決定)	

■ 本事業におけるEdv Path活用効果

○自己肯定感の低さが課題の中学校における介入事例

先生方の考える課題：生徒の**自己肯定感**が低い

アセスメント結果：対人関係スキルと度胸に苦手意識を抱えている生徒が多い

時期：10月からの2大学校行事

介入プラン：学校行事前後における**目標設定と振り返り学習プラン**

▼アセスメント結果の推移

1. 全ての項目で数値が向上
 2. 「**失敗をしても次に向かって進む力**」や、「**社会の理解力**」が大幅向上
 3. 特に自己肯定感のうち「**自分から進んで発信する**」と「**他者評価への恐れ**」などの項目が大幅に向上
- 教員も日頃の学校生活から生徒の自己肯定感向上の実感に成功

▼介入プラン実施前後における測定結果一覧

標準項目	標準項目		標準項目	
	今回	前回	今回	前回
自己肯定感	3.48	3.35	3.62	3.15
対人関係スキル	3.88	3.68	3.92	3.53
度胸	4.01	3.41	4.04	3.66
社会の理解力	3.78	3.55	3.77	3.40
自己肯定感	3.37	3.12		

オプション項目	オプション項目		オプション項目	
	今回	前回	今回	前回
自己肯定感	3.86	3.45	3.91	3.64
対人関係スキル	4.02	3.61	4.02	3.61
度胸	3.93	3.73	3.90	3.77
社会の理解力	3.71	3.64	3.80	3.69
自己肯定感	3.73	3.68	3.96	3.63
自己肯定感	3.82	3.58		

■ Edv Path利用前後の児童/生徒/教職員のコメント

◇ 教職員からのコメント（一部掲載）

とてもわかりやすく、生徒個別の状況についても的確なアドバイスありがとうございました。実は、とある学年が生徒指導や学級運営がうまくいっておらず...、それが結果に直結しており、本当にすごいなと感心しました。（公立中学校 教務主任/1年生担任）

これまで感覚的に生徒が伸ばしていくべきと感じていたものが、アセスメントの結果として数値化される中で指導のきっかけと背景になりありがたかったです。また、来年度の進むコース別の分析をしてもらい、コースごとの課題が見えてきて来年度の指導の目標が見えてきました。（私立高等学校 学年主任）

今までは生徒が何か伸び悩んでいることはなんとなく分かりながらも、どんなポイントを指導することで解消されるかが分かりませんでした。EdvPathを導入したことで的確なポイントで指導できるようになりました。（私立高等学校 1年生担任）

今までは、学力を伸ばすために勉強することだけをとにかく言い続けていましたが、さまざまな分析の中で違ったアプローチを見出してもらったおかげで、生徒指導の幅が広がりました。（私立中学校 1年担任）



■ Edv Path利用前後の児童/生徒/教職員のコメント

◇ 生徒からのコメント（一部掲載）

- 自己理解をもっと深めたいと思ったし、深めることの大切さを改めて感じた。生きるモチベーションを上げていきたい
- 環境が整えられているなら、あとは自分がやるかだと思う。自分を分析すると新しいことが発見できるとわかった
- アンケートで数値が出ただけだけど、わからなかった項目について、知れて、深く自分のことが知れた
- 何度かやったこのEdvPathがどういう意図でこの調査があったのか、詳しく知れてよかった。もっと意識して生活したいと思った
- このアセスメントがどういうものか知らず、上がり下がりに一喜一憂していたけど、自分の性格や心の状態を知るものとわかって、自分を客観的に受け入れられる様になったと思います
- いつも正直、何でやるだろうと思っていたけど、話を聞いてみて、やる意味が少しわかった様な気がした
- このような調査をしてみることで、客観的に自分のことを見ることができるなと思いました。
- Edv Pathを使って、自分でも気付けなかった自分の性格や特徴だったりを新たに知ることが出来ました。
これからまた使う機会があったら、そのときまでに結果が成長できるように頑張りたいです。

■ Edv Path導入及び運用における課題

◇ 課題

〈導入面〉

- ・ 現状ウェブサイトのみでの運営になっており、インターネット環境下でなければ動作/運用ができない。

〈運用面〉

- ・ 導入校におけるサイトビュー率の割合が低い
- ・ 学校内でどのように活用できるのかイメージが弱く、測定後のアプローチができていない
- ・ アセスメント測定後の一部機能がシステム内で表示できておらず、システムで完結できない状態となっている

◇ 解決に向けて

1. 基本的な機能とEdv Path全体の活用がしやすいようリニューアルを行い、システム上で全ての動作が実施できる状態へ改修を行う。
2. 教員研修会の頻度を増やし、Edv Pathの活用方法について学校ごとに議論できる時間や機会を増やす。

Edu Future 会社概要

未来ある子供たちの情報格差をなくして、
自ら意思決定できる人を増やす

会社名 Edv Future株式会社（エデュフューチャー）

取締役 代表取締役 山崎 泰正

設立日 2019年12月2日

資本金 300万円

本社所在地 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-11-7
第33宮庭ビル 5階

従業員 10名（役員・インターン・業務委託含む）



ご不明点・ご質問などございましたら
お気軽にお問い合わせください。

メール：support@edufuture.co.jp

電話番号：050-5373-1252

会社HP：<https://edufuture.co.jp/>

